

第1回 立川市新校舎建設マスタープラン検討委員会

日時 : 平成28年8月17日(水) 18:00~20:10

場所 : けやき台小学校 視聴覚室

出席者 :

【検討委員会委員】 ■長澤委員長 ■富永副委員長 ■菅原委員 ■小林委員 ■佐藤委員

■須崎委員 ■星野委員 ■大野委員 ■藤縄委員 ■山田委員

■堀江委員 ■栗原委員(教育部長) ■吉岡委員 ■宮城委員

■飯塚委員 ■梅津委員 □河野委員

【市職員】 ■小町教育長 ■小林課長(施設課) ■田村課長(学務課)

□神崎課長(子ども育成課) ■小瀬課長(指導課)

■矢ノ口課長(教育支援課)

【事務局】 (教育総務課) ■庄司課長 ■中島

【策定支援業者】 (株)豊建築事務所 ■田中 ■奥澤 ■高柳 ■表 (以下敬称略)

1 委嘱状交付式

2 教育長挨拶

3 検討委員会 委員自己紹介

4 委員長、副委員長選出

- ・委員長:長澤悟 副委員長:富永立人が選任された。

5 今後のスケジュールについて

- ・事務局より本検討委員会に至る経緯の説明を行った。
- ・以下の5つの委員会を発足し、検討を進めることの説明を行った。

小学校統合及び新校舎建設事業検討委員会

新校舎建設マスタープラン検討委員会(本検討委員会)

新学校設立検討委員会

通学路安全対策検討委員会

教育課程編成検討委員会

- ・事務局よりスケジュールの説明を行った。
- ・事務局より公開についての説明を行った。

<主な意見・質疑応答>

【F委員】 検討委員会での資料は、他者に見せても良いか。また、他社に検討委員会での話をしても良いか。

【事務局】 結構です。全て公開という形とし、資料も見せてよいものとする。

【B委員】 検討委員会の議事録は公開するか。また、委員会の傍聴は可能か。

【事務局】 議事録は議事要旨をホームページ等で公開を考えている。傍聴も可能とする。

【B委員】 傍聴の申し込みの手続は必要か。

【事務局】 不要とする。来ていただいた方は傍聴可能とする。

【B委員】 会議の案内は行われるか。

【事務局】 2回目以降は、広報紙等でお知らせをする。

6 新校舎に関する提案、考え方等

- ・ 策定支援業者より新校舎についての提案の説明を行った。
- ・ 策定支援業者よりアンケートについて説明を行った。
- ・ 策定支援業者より視察候補先である川崎市立はるひ野小中学校について説明を行った。

<主な意見>

【H委員】 けやき台小学校は、富士山や立川花火大会で打ち上げる花火が見える。非常に眺望のいいところである。学校という観点にとらわれず、高齢化社会を踏まえた、学校と老人ホームの複合化等、高層化し民間企業に貸し出す等、地域に密着した学校、みんなの学校にして欲しい。

【J委員】 既存のプール改修は難しいと思う。既存のけやき台学童保育所の場所をもっと広く使う為に体育館上にプールを配置する案や体育館を2階とし下の有効スペースをもっと広く使う案等、敷地を有効に利用する検討が必要である。必要な諸室について示して欲しい。

【E委員】 策定支援業者が設計に携わった、世田谷区の京西小学校の敷地は、けやき台小学校の敷地と比べてより狭いか。

【事務局】 世田谷区の京西小学校の敷地面積は約8,000㎡。けやき台小学校の敷地面積は約15,000㎡であるため、けやき台小学校の敷地と比較すると狭い。1学年3クラスで4階に普通教室のある学校である。

議事要旨

【E委員】 メンテナンス性の良い建物にしたい。また地域交流の観点から、様々な団体が利用しやすい駐車スペースの検討も必要と思う。

【D委員】 十分な駐車場が必要と考える。現在の出入口が一番入りやすいが、大渋滞が発生する。車の出入口を子どもと分ける必要があると思う。また夜間の安全性を高めるため、車の出入口を明るくする等の工夫も必要と思う。

【K委員】 けやき台小学校の良いところは、大きい子が小さい子の面倒を見ている。全学年がうまく交流できるような配置になると良いと思う。

【F委員】 「広場」というのは敷地内か。塀があるのかないのかわからない。

「広場」について

現状の敷地北側の狭い歩道や交差点の交通量が多いことから、安全な登下校空間が必要であると考え、北側の歩道を拡幅し、たまりの空間を設けた「安全なアプローチ空間」。

【事務局】 敷地内と想定している。塀をつくることについて今後検討が必要である。交差点側の歩道が狭いことに対する解決策の一つとして考えている。

【栗原委員】 第一小学校の場合は、学校敷地という形にして歩道を設置した。子どもの安全、通学上の安全というものを優先した。塀が無い第一小を視察等で確認する方法もあると思う。

【F委員】 「パオ」という小スペースは全学年に設けるのか。低学年だけに設けるのか。

「パオ」について

子どもたちが落ち着ける小空間。教室内にあり、小上がりでみんなが車座になって集まれ、手軽に読み聞かせや等の学習展開ができる設え。

【G委員】 子どもの居場所について、全体的に広い空間の中で、安心して寄り添い合える場所は、子どもたちは大好きと思う。学校全体に、このような空間ができると良いと思う。

【I委員】 「広場」について、けやき台小学校の前の交差点は、交通量が多い。子どもが登下校する時間帯は危険である。また、若葉小から通ってくる場合の安

全性が確保できると良いと思う。

【I委員】 若葉小学校もけやき台小学校も野球が盛んである。スポーツの観点からも、校庭を少しでも広くとったほうが子どもたちにとっては良いと思う。

【M委員】 学校管理の観点からは、地域ゾーンと学校は分離して欲しい。責任の所在をはっきりさせたい。不審者だけでなく、地域の方が自由に学校に入れるようにすることも、やめたほうが良いと思う。

【N委員】 現在は、安全な東側に子どもを流して入るような形にしている。交差点付近は、自転車や人も多い為、トラブルになりやすい。

【N委員】 プールが新しくなることを期待している。現位置でプールを改修しても、使い勝手がよくないと思う。

【O委員】 新しい校舎の「6つの視点」は、よくまとまっている視点だと思う。子どもたちの安全に関しては、身体的な部分と精神的な部分での安全、情報管理的な部分での安全ということも重要と思う。

新しい校舎に対する提案、考え方の「6つの視点」

- ①敷地をどう捉えたか、②校舎の配置をどう考えたか、
- ③新しい校舎で考えたこと、④地域にとっての学校をどう考えたか、
- ⑤防災拠点としての位置づけ、⑥学校づくりにとっての「エコ」

【P委員】 子どもたちの安全、セキュリティが守られている学校が必要と思う。子どもたちが、安心して落ちついて学べる学校づくりが必要に思う。子どもたちが歩いて移動できるのは3階程度と思う。4階まで行くというのは、教職員にとっても負担となる。

【P委員】 若葉小では、1階が特別支援学級の「たんぽぽ学級」のスペースとなっており、落ち着いて学習ができる環境を確保している。子どもたちが主役となる学校、学びの場としての学校を創ることが大切だと思う。

【A委員】 プール位置が良くないと思う。体育館の上に置く等プライバシーの確保が必要と思う。動線も移動時間がかかり授業時間が削られるためコンパクトにするほうが良いと思う。

【C委員】 そもそも学校がどうあるべきか、若葉小学校、けやき台小学校の良さをひとつの学校としてどういう学校にしていきたいか。という事をまとめる必要がある。アンケートも同様に、「どういう学校にしたいか」その為に「どんな施設が欲しいですか」の設問に変えていくと良いと思う。マスタープランやワークショップ等の言葉を解説する工夫が必要である。

【C委員】 「教師ラウンジ」は、先生たちが疲れていては、子どもたちにはやっぱりいい教育はできないので必要だと考える。また、保護者や地域からの来校者の方々もラウンジのような落ちついた雰囲気の中で話をする場となると良いと思う。

【B委員】 それぞれの立場になって意見を集めて1つの目標に仕立てていくのがこの委員会の役割だと思う。次回以降は、この学校の目標、大事にしたいもの、残したいもの、生かしたいものは何か、問題点や解消したい点等を、議論ができると良いと思う。

7 次回について

- ・事務局より次回の検討員会までの流れを説明した。
- ・視察先を川崎市立はるひ野小中学校として選定された。
- ・事務局よりアンケート実施について報告を行った。

8 閉会